

労働者大衆諸君！

彼等の言ふことはかうだ。曰理由もへちまもない、政府の命令だ。黙つて服従しろ。ぐづぐづいふと、其の命に置かれる。而して労働者大衆諸君！

これが、我々労働者階級に対する、一切の場合に於けるブルジョア政府の態度である。

### 撤回を命じられた三議案本

撤回を命じられた三議案は如何なるものであるか。

これ等の問題は、我が評議会が既に早くより主張し、運動し来たつたものである。今日知識ある労働者大衆のほとんど悉くが承認するところである。

然らば大会は、これ等の問題を如何に扱ふべきとしたか。以下三の議案、趣旨が簡單に述べよう。

一、太平洋沿岸連合の文壇の決り案は、

没落に墜ちた世界資本主義、異化の文壇は、支那を中心とする

太平洋沿岸である。帝口主義列強の覇権の争奪戦、軋轢は益々激化し、今や恐ろべき悲惨事、第二の世界戦争の危機が太平洋沿岸を襲いつ、ある。同時に此の悲惨事への労働者階級の徹底的犠牲が、帝口主義各口によつて一様に強要される。と、ある。

我々労働者階級が斯くの如きブルジョアへの奉仕から逃れ、且つ人類の悲惨事たる第二の世界戦争を防止し得る力を、口深労働者階級の階級的提攜と見出す。かくて我が評議会は、其の有力なる基礎ともなるべき、太平洋沿岸各口の代表により、本年五月支那広東に於いて組織された、太平洋労働会を積極的に支持し、その成功に努力せん事を決議せんとしたものである。

二、非支非干渉運動に関する決り案は、

帝口主義列強の鉄鎖に一つながれ、多年極度の搾取と隷屬に、非人間的な苦惱なる生活を続け、未だ支那四億の民衆の解放運動に対し、帝口主義列強は今や必死となつて、或は武力によつて、或は全力を以て、これを挫折せしめよう